

太平洋諸島フォーラムと 「地域主義」構想

●はじめに

国土面積も人口も極めて小さい島嶼国が散在するオセアニア地域において、これらの小島嶼国が共同歩調で国際問題や地域内の課題を議論する地域協力機構は極めて重要な役割を果たしている。その地位を担っているのが、太平洋諸島フォーラム（PIF）である。現在、オーストラリア、クック諸島、ミクロネシア連邦、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、ナウル、ニュージーランド、ニウエ、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツの十六カ国が加盟している。PIFは通常毎年九月初めに各国の持ち回りによる首脳会議を開催し、地域内での協力について議論を行っている。同期間には、PIFと、旧宗主国や日本や中国などの主要ドナー国との間

で協力関係を協議する「域外国対話」が開催されており、近年では域外国側も大臣あるいは次官級高官を派遣するなど、同地域を重視する姿勢を示している。